

平成27年度 第1回

広島県後期高齢者医療広域連合運営審議会議事概要

平成27年11月24日(火)
午後2時59分から午後4時19分
KKRホテル広島2階「安芸」

【出席者】

委員(出席)：荒川委員，片岡委員，金子委員，神岡委員，河野委員，才野原委員，鈴木委員，徳田委員，仲島委員，西河内委員，久光委員，檜谷委員，吉賀委員，渡邊委員

委員(欠席)：山下委員

広域連合：藏田広域連合長，小林事務局長，宇都宮事務局次長兼総務課長，本越会計管理者兼会計課長，日浦業務課長

【会議要旨】

1 開会

事務局から，委員の過半数の出席があり，審議会が成立していることを報告

2 広域連合長挨拶

3 委員の紹介

事務局から，各委員を紹介

4 事務局職員の紹介

5 運営審議会の概要の説明

6 議事

(1) 会長の選任について

片岡委員を会長に選任

(2) 副会長の選任について

檜谷委員を副会長に選任

(3) 会議の公開について

会議を公開することを決定

発言は、会長の許可を得てから発言することを申合せ

会議録は要点筆記とし、発言者名は記載しないこと

(4) 諮問事項について

ア 広域連合長から運営審議会会長に対し、諮問書の受け渡し

イ 〔諮問事項１〕

広島県後期高齢者医療広域連合第３次広域計画の策定について

(ア) 諮問事項１について事務局から説明

(イ) 質疑等

(委 員) 広島県の医療費は全国平均に比べて高いが、どのように考えているのか。また、第３次広域計画（案）の施策の中に「健康づくりの推進」があるが、高齢者の健康な生活のためにどのように生かしていくのか。

(事務局) 医療費が高いことについて、広島県の分析によると医療機関が充実していることなど十分な医療を受けやすい環境があることなどが考えられる。

また、近年、高齢者の医療費が増加する傾向があり、後期高齢者医療制度の安定的な運営を行うには医療費の適正化が重要である。

そのためには、保健事業の充実を図るとともに、更なる医療費の適正化を推進する必要がある。

(委 員) 広島県の医療費が全国平均と比べてかなり高いが、相対的な分析が必

要ではないかと思う。

(委 員) 医療費について、健保組合や協会けんぽなどはどうなのか。後期高齢者の医療費だけでも広島県は高いので、広域連合としても市町間の格差や全国の類似県との比較・分析は非常に大事だと思う。

(委 員) 広島県は全国と比較して健康寿命が短い。なぜ健康寿命が短いのかということなども含めて分析する必要がある。広島県は健診受診率が低く健診医療のあり方を含めて、広域連合だけの問題ではなく医療機関や広島県行政なども含めて真剣に協議する必要があると思う。

(委 員) 医療費を抑えるにしても健康寿命を延伸させるにしても予防に重点を置く必要がある。保健事業について、第3次広域計画(案)の表現は弱いので、保健事業を推進するという表現に修正すべきだと思う。

ウ [諮問事項2]

平成28年度及び平成29年度の後期高齢者医療保険料率の設定について

(ア) 諮問事項1について事務局から説明

(イ) 質疑等

(委 員) 広島県の1人当たりの医療給付費について、年度毎に1.1%の伸び率としているが、平成25年度、26年度の実績から比較すると、この伸び率は高いと思うがどうか。

(事務局) 今回は、国が示す伸び率1.1%を採用して試算している。おそらく年内には国から最終的な数値が示されると思う。

また、剰余金や財政安定化基金の活用についても今後広島県と協議していきたい。

7 閉会